

## 社会保障委員会 NEWS

発行：社保委員会事務局

### ■「のびのび」の運動療法士による仮設集会所での「健康づくり教室」（集団指導）が、セヶ浜町で10/27からスタート！

10月から仮設入居者を対象にした県の健康支援事業として、運動療法士による集団運動指導が対象となりました。塩竈市・多賀城市・セヶ浜町に実施申し入れたところ、早速セヶ浜町から「10月中からでも始めてほしい」という要望が寄せられ、「のびのび」咲間係長が担当者と打ち合わせ、27日より開始となりました。

＜「これまで行っていた介護予防教室が、震災で再開できていない地域で開催できます。」＞

セヶ浜町では、従来から地区ごとに介護予防教室を開催していましたが、震災で被害の大きい地域では中断したままになっていました。今回の「健康づくり教室」は、中央公民館にある老人センターで毎月第4木曜日の午後に、謠地区の集会所で毎週第2木曜日午後に開催していくことになりました。この教室は、県の健康支援事業（震災復興基金事業）としても認定される予定で、平成25年度まで継続して県の補助事業となります。

なお、塩竈市も伊保石仮設の集会所で、月1回月曜日午後に開催する方向で検討中です。

### ■仮設健康相談会6日伊保石13日城南で開催。無保険のお宅も。

健康相談会は、10月6日に塩釜・伊保石集会所で富山・神宮医師、クリニック外来・3階看護師の参加で開催しました。伊保石仮設では3回目の健康相談会ということもあり来場者は8名でしたが、血圧180以上の方が2名いらっしゃり、かかりつけ医に相談を勧めました。集会所での相談と並行して、塩釜市の保健婦さんと医師・看護師で気になる入居者3名を訪問。動悸がひどく、受診を勧めても通院しないというお宅では、実は保険証がなく通院をためらっていたことがわかり、保健婦さんに対応いただくことになりました。

10月13日は、多賀城・城南仮設で開催。隅田医師、介護保険室・手術室と検査室から参加。こちらも3回目の開催で6名の入居者が来場されました。来場者が一段落後、医師・看護師で多賀城市から依頼のあった入居者3名を訪問。皆さん状態は落ち着いてましたが、独居の方のワンルームを初めて訪問。

1部屋の中に小さなテーブル、衣装ケース、テレビだけでスペース一杯になっていて、「これは、本当に狭すぎる。何とか、ならないものか。」と感じました。

＜参加者の感想＞

- ・仮設に来たのは初めて。お宅を訪問して、お部屋に入れていただいた。1人用ですごく狭いと思った。
- ・1人暮らしの方には、訪問傾聴ボランティアがあるとよいかもかもしれない。
- ・基本は慢性疾患で不安な方も何人かこられた。受診のきっかけになるので、相談会を開くこと自体に意味があるとおもった。
- ・高齢の1人暮らしのお宅を訪問した。もっと安心できる生活ができるようになればいいなと感じた。



＜城南仮設 手前は問診、奥は診察ブース＞